

◎2026年に大きく躍進、注目のフィジカルAIに関する調査分析レポートを緊急発行！
黎明期にGoogleが自動運転技術の最大の脅威となることを予見した、IPランドスケープ®の第一人者が注目するプレイヤー・要注意技術とは！？
本レポートに基づく自社の開発戦略探索について、著者(または関係者)から直接サポートを受けることができます(制限有り)。

調査分析レポート：新規事業開発支援ボット付き

フィジカルAIの業界潮流と
勝ち筋をあぶり出すIPランドスケープ

株式会社知財ランドスケープ 代表取締役社長/CEO 山内 明 氏

- 発行 2026年10月
●定価 冊子+PDF(CD-ROM)385,000円(税込(消費税10%))
●ISBN 978-4-86502-319-0
- 体裁 冊子 A4横 天綴じ 266ページ+PDF版(CD-ROM)
オールカラー Appendix(付録)および購入者特典付
※本製品は冊子のみ・PDF版のみの販売はございません。
※後述「付録および購入者特典について」もご参照ください。

本レポートの特徴

- ★NVIDIA、GOOGLE、ファナック、日立製作所、KUKA、、オムロン、AMAZON、UBTECH、BOSTON DYNAMICS、SANCTUARY AI、TESLA、BOSCH、トヨタ、HYUNDAI、ホンダetc... 市場が有望視される3分野(産業用ロボットの進化系、ヒューマノイド、自動運転車)の、2019年以降の情報を横断的に調査。12,669件に至る特許分析をもとにした出願ランキングや注目特許から要注目プレイヤーを特定、分野間シナジも把握。
- ★センサーフュージョン、マニピュレータ制御、自動ピッキング、人からの模倣/連携協調、器用なタスク高度化、電池・小型軽量化・冷却等ハード面、3D物体検出、レーン認知高度化、環境モデリング、軌道予測 etc... 各プレイヤーの更に詳細な傾注分野や要注目特許、課題を特定。その結果に基づく個社戦略も明らかにし、各分野ごとに有望視される新規事業開発の勝ち筋や有望なフィジカルAI銘柄を提案。
- ★生成AI(Gemini Notebook)を駆使する「新規事業開発支援ボット」をAppendix(付録)として収録。使用方法・実践例の詳細解説資料と併せ、購入者自身で自社に最適な開発戦略・勝ち筋をあぶり出すことができる。著者による無償ガイダンス特典のフォロー付き。

【本製品の仕様および注意事項について】

- ・PDFは本文コピー可、印刷可の仕様となっております。
- ・本製品は著作物であり、印刷および複写・配布等のご利用については、申込者および部署内・関連部署などへの展開に限り可能です。不特定多数に向けた閲覧や複写、配付、無断転載等は固くお断り致します。
- ・商品ごとに、ファイルデータへ個別のパスワードを設定しております。
- ・購入者様毎にシリアルナンバーを設定。各ページに記載あり。
- ・パスワードはCD-ROMに添付されています。
- ・本文中のURLに関しましては、リンク切れ等、うまくリンクしない場合もございますので、予めご承知置ください。

【付録および購入者特典について】

- Appendix(付録)：
- 1)「新規事業開発支援 自動化ボット」ファイル
：生成AIを活用し、ご自身で新規事業開発の勝ち筋探索を行うことができる各種フレームワーク
 - 2) 上記攻め筋探索の解説資料(あぶり出しを購入者自身でできるような解説書)
 - 購入者特典：著者(または関係者)による質問・サポート対応
 - 1) Web会議による無償質問(計2時間まで)
 - 2) Web会議による上記攻め筋探索のサポート
 - ：付属の「新規事業開発支援ボット」動作確認・攻め筋探索実践のためのWeb会議によるサポート(2回程度：計3時間まで) * 特典の流れは製品をご参照下さい。

はじめに (本文より抜粋)

2026年1月のCES2026の基調講演においてNvidiaのジェンソン・ファンCEOが予測した「フィジカルAIのChatGPTモーメントが来る」が的中したかの如く、各国においてフィジカルAIの主要企業による動きは勿論、産官連携による国策ともいえる動きが加速しています。
日本では、経済産業省およびNEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)による5年総額1兆円に上るマルチモーダル基盤モデル開発事業(FRONTia)が開始され、その研究・開発主体としてNoetraが採択されました。Noetraは、ソフトバンク、ソニーグループ、NECおよびホンダを中核とする国内44社が出資して構成され、オールジャパンによる取組として注目されています。日本政府が公表した「日本成長戦略」では、フィジカルAIにおける競争優位性確保に向けた、国産マルチモーダル基盤モデルの開発力強化が重要視され、そのための施策としてFRONTiaが位置付けられています。また日本政府は、ロボットなどへのフィジカルAI実装に不可欠な半導体についても外国依存から脱すべく、総額約1.2兆円の補助金を設けてTSMCの工場を熊本に誘致するとともに、最先プロセスでの製造を目指すRapidusに対して数兆円を投じています。これらの巨額投資からも明らかな通り、今後の日本産業の盛衰はフィジカルAIの成否によるといっても過言ではありません。
著者は、IPランドスケープ(特許情報を起点とした総合分析)専業の代表として、あらゆる業界業種の企業を支援する立場にありますが、最近では、一見すれば無縁ともいえるような業界業種にもフィジカルAIの商機があることを実感しています。具体的には、AI実装に不可欠な半導体および周辺回路ならびにそれらの製造装置は勿論ですが、ロボットの動きを支える骨格ならびにロボットの動きを制御するアクチュエータおよびセンサ、さらには人との協働時の安全性担保のための高衝撃吸収性素材および接触センサ内蔵に適した素材など、フィジカルAIの商機が多岐にわたる業界業種に亘ることを実感しています。
これらを言語化しつつ、IPランドスケープに基づく戦略提言などの本業で得た知見も活かし、読者がフィジカルAIの商機(勝ち筋)を自ら見い出せるように企画したものが本書です。読者におかれましては、本書をフル活用してフィジカルAIの勝ち筋を見い出すつもりで熟読願います。

【抜粋目次】* 詳細な目次はHPをご確認ください

- 第1部 フィジカルAIの業界潮流と有望銘柄をあぶり出すIPランドスケープ
- 第1章 本書の目的
 - 第2章 フィジカルAIのPEST分析、分析用の母集団検討
 - 第3章 マクロ分析
 - 第4章 最注目プレイヤー分析
 - 第5章 産業用ロボットを主とする企業分析
 - 第6章 ヒューマノイドを主(一部副)とする企業分析
 - 第7章 自動運転車を主とする企業分析

- 第2部 日本勢(個社)の勝ち筋をあぶり出すIPランドスケープ
- 第8章 目的および仮想テーマ設定
 - 第9章 メーカーの勝ち筋候補抽出及び深堀検討例

書籍の詳細は⇒「情報機構 BC261001」と検索！
または <https://johokiko.co.jp/publishing/BC261001.php>

★書籍申込書

FAX：03-5740-8766、または、→<https://johokiko.co.jp> にて
※FAX番号はくれぐれもお間違えの無い様お願い致します。

- (書籍申込み要領)
- ★右記記入の上、FAXでお申込み、もしくは、<https://johokiko.co.jp/>の申込みフォームから承ります。
 - ◎お申込書を確認次第、書籍、請求書、納品書および振込要領をお送りいたします。(送料は弊社負担)
 - ◎未発刊の書籍をお申込みの場合、発刊時に弊社より書籍、請求書、納品書および振込要領をご送付いたします
 - ◎お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
 - ◎振り込み手数料はご負担ください。

書籍名HP【BC261001】		
フィジカルAIの業界潮流と勝ち筋をあぶり出すIPランドスケープ		冊数 ____冊 ※記入の無い場合は1冊
会社名		
所属部課・役職等		
申込者氏名	TEL	FAX
E-MAIL	上司役職・氏名	
住所〒		
備考		
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) ☐ e-mail ☐ FAX ☐ 郵送		

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。
今後のサービス向上のため「個人情報の取扱いに関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp